

令和6年度 第2回社会教育委員の会議 会議録

日 時：令和6年9月13日（金）18:55～20:09
場 所：学びの里「めいりん」ランチルーム

出席者 委員7名（別添名簿のとおり）、事務局2名

○教育理念唱和

1 開会あいさつ（委員長）

9月に入ったがまだまだ暑い日が続いている。皆さまにおかれては体調に十分ご留意いただきたい。

おおの城まつりへ足を運んだ。花火大会では400機のドローンが様々なデザインを花火と連動して表現していて、その迫力とすばらしさにたいへん感動した。あれだけの複雑な操作がどのようにされているのか、日中の明るいときに見せてもらいたいと思った。また盆踊りでは、たくさんの人々が踊りの輪を作り、中学生の演奏などもあり明るい話題であった。

2 議 題

（1）生涯学習に関する会議体について 資料No.1

人口減少が進む中、以前に比べ退職年齢が上がり、さまざまな役職のなり手不足が地域の課題として叫ばれている。市においては、これまで市民の声を聞く手段として、さまざまな会議体を設けてきた。現状を鑑みると、委員の選出を依頼していた団体等の構成員の減少や、団体そのものの解散などで、いくつもの会議に同じ方が選出されて負担が集中している状況がある。

市では会議体の見直しが一つの課題として捉えており、生涯学習・文化財保護課が所管するものに関しても作業を行っている。

今回、社会教育委員の会議と生涯学習推進会議について整理ができないかとのことで、まずはそれぞれの状況を説明する。（資料No.1）

・私も所属団体副会長の充て職として参加している。人が重複していることを理由とするのではなく、その主旨や内容で検討してほしい。

・小中学校の再編で11校から9校に減少している。校長会への各種委員の依頼は減っていない。内部でも整理しないといけないと議論をしている。

・ふわわ女性の会が解散し、今年度末には壮年団体連絡協議会が解散することが総会で決定している。各団体の状況を鑑みると、市から依頼する委員等の選出に対する負担は大きいと思う。生涯学習推進会議からも同様の提案があった。

・今回は状況を共有することとし、次回以降の会議でさらに踏み込んだ議論を行うこととする。

（2）第62回福井県社会教育研究集会について

・日時 9月27日（金） 午後1時開会（受付12:30～）

・会場 リブラ若狭

・集合 午前9時00分 市役所駐車場集合（市公用車に乗り合わせ）

・参加者 佐々木、飯田、松田、山口、嶋、事務局 6名

・第3分科会 地域文化の振興（奥越ブロック担当）

○司会者（兼運営責任者） 佐々木委員長

○提案者 松田委員

○提案要旨および当日発表データ 資料No.2

当日発表の際に使用するプレゼンテーション用のデータを、提案者による予行をかねて確認。

・城まつりには外国人の参加が多かった。国際化の話題に触れると良い。

（3）奥越ブロック研修会について 資料No.3

・日時 10月1日（火） 午後2時～午後4時

・会場 白山平泉寺歴史探遊館 まほろば 映像ホール

研修① 講演「国史跡白山平泉寺境内内の遺構発掘調査について」

研修② 意見交換会

・出欠の返事を9月24日（火）までに事務局 山田まで

・公用車で送迎します

☆R7・8年度は大野市が開催担当

（4）第3回会議について

・時期 10月下旬～11月中旬

・内容 市博物館特別展視察、東海北陸大会報告 など

・改めて、開催日を調整してお知らせする。

・会議体についての議論を行いたい。

3 その他

なし

4 閉会あいさつ（副委員長）

各団体からの委員選出についての議論が始まった。

個人的には団体からの充て職として参加させていただいているが、良い機会をいただいていると感じている。

引き続き、皆様としっかりと議論をさせていただきたいので、今後ともよろしく願います。

以上